



庄司 紘八
(市民の声)

能代南インター、 東能代駅名等の変更

質問 インター名、駅名の変更やインターの標識に補助板を取り付け「能代市街地」と表示するなど、能代市以外から訪れる方々にもっとわかりやすくするのが行政の対処の仕方ではないか。

答弁 インター名や駅名の変更は、地域内外に影響を与える大きな問題であり、客観的な事由と具体的な効果を明らかにし、全市的な合意形成のもと、慎重に取り組んでいく必要がある。今なすべきことは、優れた観光資源や個人的なまちづくりを売り出し、白神山の玄関口として交通アクセスも含め



能代南インター出口

て積極的にPRしながら能代市の知名度を高めていくことである。インター標識の補助板の設置については、実現に向けて努力したい。

中心市街地の にぎわい創出施策

質問 まちづくり三法を能代市ではどう活かしていくのか。また、民間と行政の協力体制にどのような進展があったのか。

答弁 今後の中心市街地活性化に向けての取り組みは、郊外型大型店出店の可否や抑制に関して市のまちづくり、土地利用など将来を見据えた上での判断が必要であり、商業の需給バランス、市民の動向、大型店の中心市街地に及ぼす影響等について広く意見を収集・調査し慎重に検討したい。また、柳町商店街、イオン(株)、市の三者でジャスコ能代店のリニューアルで何ができるのか検討を行っている。畠町通りアーケード撤去については、関連する3商店街や関係者と協議を重ね、撤去後すぐに具体化が必要なもの、その後どのような商店街をつくっていくのか、活性化のための手段など一体となって知恵を出し合いながら取り組んでいきたい。

庄司議員のその他の質問事項

- ・子育て支援について
- ・市史編さん事業の今後のあり方
- ・安心して暮らせる防犯対策



飯坂 誠悦
(創風会)

リサイクルポート 指定

質問 6月末に、県が国土交通省に対し能代港総合静脈流通拠点整備計画(案)を提出した。指定が受けられると、官民連携による取り組みに弾みがつくと思うが、進捗状況はどうか。トップセールスを自認する市長のセールスはいかがか。

答弁 県が整備計画(案)を提出した後、審査の結果や指定のめど等についてはまだ示されていない。予定より作業がおくれているようで、現在も書類審査が継続しているものと思われる。能代港の利活用促進は、県全体の港湾利活用もあり、リサイクルポートに限らずあらゆる可能性を探りながら、能代港湾振興会を通じた民間企業との連携等により、客船の誘致も含めて積極的にポートセールスに取り組みたい。5月には吉野石膏(株)を、6月には同和鉱業(株)を訪問し、8月には県・県内市町村と首都圏企業との懇談会に参加し、企業幹部との交流を行っている。

市の拉致問題への 取り組み

質問 「拉致問題に関する地方自治体ネットワーク」が発足し、自治体からも早期解決を求める運動が起こっている。過去に北朝鮮の工作員が密入国した「能代事件」があった市として何らかの行動ができないか。

答弁 能代市の海岸でも平成4年に拉致と考えられる事件が発生しており、今後も海岸線で拉致等の事案が発生しないとはいえない環境にある。このため、市では能代市山本郡内の市町や沿岸に関連する業種団体、49団体が構成している「能代山本沿岸防犯協会」に加盟し、連携を取りながら拉致問題に関する広報啓発活動や危険力所の把握、沿岸線の清掃活動による環境保全対策等の沿岸防犯に取り組んでいる。拉致問題の解決については、全力を尽くしたいと考えているが、自治体ネットワークへの参画については今後の動きを注視しながら検討したい。

